

キャッシュレスで 観光の好機つかむ長崎

出島ワーフと壱岐で導入

日本のキャッシュレス化促進と、地域・地方創生の実現に向けて課題解決に取り組むニッポンプラットフォーム。スマートフォンでのQRコード決済が可能な「ニッポンタブレット」は国内外の決済ブランドに対応。大型客船が寄港する長崎港周辺にある出島ワーフでの実証実験、キャッシュレスで島おこし構想を掲げる壱岐島との連携で長崎に観光客を呼び込んでいる。



長崎の訪日外国人客は中国人が圧倒的に多い。クルーズ船の寄港地である長崎港があるからだ。だが、大型団体バスで免税店へ直行してしまい、地元の商店に経済効果が及ばない問題がある。しかし、「少しずつ、一部の中国人観光客が個人で観光する傾向が出てきた」と語るのは長崎国際観光コンベンション協会の寶珠真一氏。そのため、個人で観光してくれる中国人観光客を呼び込むような施策を徐々に考え始めているという。そのなかで、観光客

に選ばれる店や商店街づくりに向けたキャッシュレス対応は重要な施策の1つだ。

国のキャッシュレス施策や東京五輪の影響が追い風になっている。加えて九州新幹線西九州ルートの開業を控え、長崎駅周辺の再開発が進み、2年後には駅隣接地にヒルトンホテルを含むコンベンション施設「出島メッセ長崎」が開業する。さらに4年後には、ジャパネットホールディングスがサッカースタジアムを中心としたスタジアムシティ建設を計画している。こうした長崎市中心部のハード面の整備が進むなか、事業者や市民と共にソフト面の整備に積極的に取り組む絶好の機会と捉え、「インバウンドによる地域の消費拡大を目指す」と意気込む。

長崎国際観光コンベンション協会は、ベイエリアにある複合商業施設の出島ワーフにある。出島ワーフは、2月からニッポンタブレットを用いてキャッシュレス決済の実証実験を始めた。現在11店舗でニッポンタブレットを導入。その一店舗であるアティックカフェの野田信治氏は、「お客さまに認知されてからはQR決済の利用も多く、スタッフのオペレーション軽減にもつながった」と話す。タブレット1つでさまざまな機能（音楽サービス・翻訳機能など）を使うことができ、新しい決済サービスの追加にも対応している点が魅力という。



1長崎国際観光コンベンション協会の寶珠氏 2アティックカフェの野田氏 3QRコード決済は、世界各地で広がりを見せている 4アティックカフェで人気の龍馬コーヒー 5異国情緒が漂う出島 618年220隻のクルーズ客船が入港した長崎港に面する出島ワーフ

壱岐キャッシュレスで島おこし

壱岐島でウェブデザイン、地域活性化イベント企画などを行っているイキテイクの柴山琢磨代表は、14年間にわたり壱岐市役所に勤務し、観光振興や島全域を光ファイバー化する事業を手掛けた。その経験を生かし、キャッシュレスアイランド構想を掲げ、あらゆる店で多様なキャッシュレスサービスが利用できるように日々奔走する。

壱岐島は、古事記に5番目に創られた島「天比登都柱（あめのひとつばしら）」と記されており、神社や小さな祠を合わせた神様の拠点は1000を超え、神様の息吹を感じられる島だ。だが、18年の延べ観光客数は38万人で、五島（66万人）や対馬（102万人）に大きく水を開けられている。柴山代表は「外国人観光客は年間2000人に満たないが、歴史や文化に興味を持って訪れている」とも話し、魅力的なコンテンツを生かすためにも、島にお金を落とす仕組みの必要性を

壱岐島は博多港から高速船で約1時間の距離に位置するが、この好立地は国内外にそれほど知られていない。キャッシュレスアイランド構想を掲げ、動き出した島の人々の声を紹介する。

説く。近隣の福岡市からの誘客をはじめ、外国人観光客の増加につなげるために壱岐島の弱点であるキャッシュレスをさらに進め、時間の短縮、管理の簡素化などさまざまなメリッ

トを享受したい考え。

イキテイクも加盟する壱岐商工会は、経営支援課でキャッシュレス決済の導入申請に対応している。観光客流入の契機としたい意向がある。



1イキテイクの柴山代表は元壱岐市役所勤務 2小枝すら持ち帰ることが許されない島全体が神域とされる小島神社 3壱岐市商工会経営支援課の濱田健治氏 4壱岐の最北端、勝本港から北西2kmにある無人島の辰ノ島。3～11月に周遊クルーズ船が運航される

導入施設の声

▶ 下條くだもの店

地元のお客さまや観光客が訪れる創業70年の店です。壱岐産の果物をはじめ、全国の旬の品を取りそろえています。8年前から販売を始めた自家製のジャムが口コミやSNSで広がり、今では全国各地からお取り寄せの依頼があります。キャッシュレス決済は導入にお金がかからないので、まずはやってみようという感覚でした。キャッシュレスで客単価は上がるので、島を挙げての対応が急務だと考えます。



▶ 壱岐動物病院

約25年前の開院当初から多くのクレジットカード決済を導入してきました。動物病院は10割負担なので飼い主の利便性向上を重視しています。ATMなどの少ない地方こそキャッシュレスでの決済が重要。一緒に観光した後、夜はペットホテルに預ける方や、海で一緒に泳いだのでシャンプーをしてほしいという方もいらっしゃいます。ペットと一緒に観光地を訪れる方はこれからも増えると思います。



ニッポンタブレットで可能な決済ブランド



10万円まで決済手数料・導入費用無料!
今すぐお申し込み!

ニッポンプラットフォーム（株）
お客様サポートセンター
Tel：0120-005-796



壱岐の
サポートチーム

イキテイク合同会社
Tel:0920-40-0160
http://www.ikitake.jp